

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 25 年 4 月 11 日 (2013.4.11)

【公開番号】特開 2011-190562 (P2011-190562A)
 【公開日】平成 23 年 9 月 29 日 (2011.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-039
 【出願番号】特願 2010-59939 (P2010-59939)
 【国際特許分類】

D 0 4 H 1/558 (2012.01)

【F I】

D 0 4 H 1/54 P

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 2 月 27 日 (2013.2.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 0】

図 8 に示すとおり、本実施形態では、噴射装置 1 4 の機械方向 M D における両側には、一対の隔離壁 4 0 a , 4 0 b が搬送手段 1 2 から離間した状態で配設されている。隔離壁 4 0 a , 4 0 b が設けられていることによって、領域 R 近傍に滞留する空気の領域 R への流入が妨げられ、下面 3 2 の噴射孔 3 1 付近の温度低下を抑えるとともに、噴射孔 3 1 から噴射される加圧蒸気の温度の低下を抑えることができ、加圧蒸気を一定の温度に保った状態のままワーク 1 1 に吹き付けることができる。なお、隔離壁 4 0 a , 4 0 b は、機械方向 M D の上流側または下流側のいずれか一方のみに配設されていてもよいが、ワーク 1 1 の搬送される方向から空気が領域 R へ流入されやすいので、少なくとも上流側に位置する隔離壁 4 0 a を配設することが好ましい。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 5】

なお、既述したように、本発明のワーク処理装置 1 0 は、特定の処理加工にのみ用いられるものではなく、比較的融点の低い繊維どうしの融着加工、不織布シートの風合い加工や繊維油剤などの洗浄加工などの各種加工処理に用いることができる。